



海老沼小だより

～かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校～

6月号

令和4年6月1日

さいたま市立海老沼小学校



さかなのなみだ

校長 大島 恵美

校長室の前には、水槽が並んでいます。小さい水槽には、ウーパールーパーが1匹、悠々自適に生活しています。大きい水槽には12種類の、小さくて美しい魚が泳ぎ回っています。毎日、飼育委員会の担当の子どもたちが、えさをあげたり水槽をきれいに保ったりと、一生懸命世話をしています。「海老沼アクアリウム…」と勝手に名付けて水槽を眺めていると、子どもたちが寄って来て、「魚談義」に花を咲かせています。

さいたま市立の小中学校では、6月をいじめ撲滅強化月間と定め、いじめ撲滅に向けた取組を学校全体で実施しております。そこで、昨日の講話朝会では、さかなクンの絵本「さかなのなみだ」を基に話をしました。

さかなクンは、豊富な魚の知識と元気いっぱいのキャラクターで、お茶の間で大人気です。現在はイラストレーターその他、大学の客員教授としても御活躍されています。「さかなのなみだ」は、朝日新聞の「いじめられている君へ」に掲載された文章を再編集して絵本化されたものです。さかなクンご自身の体験を基に書かれています。

吹奏楽部の中で急に起きた「無視」といういじめを魚の世界に例えて話を進めます。メジナは狭い水槽に入ると、必ず1匹を仲間外れにして攻撃してしまいます。広い海ではこんなことは起こりません。狭さは、空間的なものだけでなく、価値観や個性の自由ささえも見えなくしてしまいます。人間も同様に、狭い人間関係や自分の間違った価値観にとらわれず、もっと広い世界や考え方に目を向けてみよう、という内容です。

大切な友だちができる時期、
小さなカゴのなかでだれかをいじめたり、悩んだりしても、
楽しい思い出は残りません。
外には楽しいことがたくさんあるのに、
もったいないですよ

さかなクンの言葉が心に残ります。

本校では、学校生活の折に触れ「やさしさや思いやりの心、命の重さ」について子どもたちが考える機会を設定してまいります。そして、「いじめを許さない・いじめが起きない学校づくり」そして「自他の気持ちを大切にできる集団づくり」に取り組んでまいります。みんなが互いを思いやり行動できる優しい学校を目指して、保護者の皆様、地域の皆様と共に、子ども達の心を育てていきます。